



学校だより

令和6年4月26日
横浜市立上白根小学校
【5月号】



<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamishirane/>



頼もしい6年生

校長 小嶋 一喜

今年度も、1年生と6年生の教室が2階にあります。入学式の次の日から6年生が1年生に多くかかわりをもっています。

4月9日は、雨風が強い日でした。1年生にとっては、おうちの人と離れて一人で登校する最初の日でした。荷物が多い中、傘やレインコートが加わり、とても大変でした。1年生の昇降口では、片方に手提げ袋をもち、もう一方に傘をもっている状況で、上履きに履き替えることにも苦労している子どもたちがありました。そこへ、昇降口にいた6年生が、そっと寄り添い、上履きをはいたり、傘を畳んだりを手伝っていました。1年生も、ほっとした表情を浮かべて、教室に向かっていきました。教室の中では、ランドセルから教科書などを机の中に入れていました。そこでも、6年生が1年生にやさしく声をかけながら、自分でできるようにかかわっていました。

4月15日は、快晴。さわやかな春の風が桜の葉を躍らせている中、1年生を迎える会が行われました。入場のときに、6年生が1年生と手をつなぎ、笑顔で元気よく歩いてきました。会の中では1年生が「体育が楽しみです。」「給食のカレーが楽しみです。」と、これからの学校生活の楽しみを発表しました。退場のときには、上級生の間を歩いて、みんなに顔を見てもらいました。上級生と目が合って、1年生もにこにこ笑顔で歩いていく姿が印象的でした。



4月19日、地震の避難訓練がありました。発災後は、机の下にもぐり、頭を隠すようにしました。地震が収まったあとに、「お(さない)か(けない)し(やべらない)」の約束を守って、校庭に避難しました。6年生がお手本を示してくれたので、1年生も、しっかりと避難することができました。

これ以外にも、休み時間、掃除の時間など6年生が積極的に1年生にかかわりをもっています。令和6年度が始まり3週間が経ちますが、実に頼もしい6年生です。1年生も安心して学校生活を送ることができているように思います。

3階では、5年生と2年生が、4階では4年生と3年生がかかわりもちながら学校生活を送っています。今後も、上級生が下級生にやさしく接したり、お手本となる背中を見せてくれたりできるように、励ましていきます。